

薬学生の将来-多様なキャリアと多職種連携

責 任 者・コーディネーター		薬剤治療学分野 三部 篤 教授 薬学教育学分野 白石 博久 特任教授	
担当講座・学科(分野)		薬剤治療学分野、薬学教育学分野	
対象学年	4	区分・時間数 (1 コマ 2 時間換算)	講義 16 時間 (8 コマ)
期 間	通期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

薬学部を卒業後に関わることが予想されるさまざまな職業（臨床薬剤師、薬局経営者、看護師、ソーシャルワーカー、行政薬剤師、製薬企業勤務者（創薬、開発、医療情報担当者）、医学教育・研究者）の特色について、実際にその職業に従事されている方々に体験を交えてご紹介いただき、それぞれの職種の役割について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

本講義を通じて卒業後のさまざまな進路をイメージすることにより、医療に関わる職業人となることを自覚できるようになるとともに、卒業後の職業選択に役立たせることができる。また自身が卒業後に就くことを希望している職種とは異なる職種の業務内容を学習することにより、社会に出てからのチーム医療の実践、多職種連携に役立たせることができる。加えて、5 学年での実務実習や 6 学年での「総合講義」「総合演習」「臨床薬学総合演習」「地域医療マネジメント概論」における学習意欲が向上する。
(ディプロマ・ポリシー：1, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10)

・到達目標（SBO）

1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。(8)
2. 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる。(8)
3. 薬の専門家が社会において果たす役割を列挙できる。(9)
4. 薬剤師とともに働く医療チームについて概説できる。(1027)
5. チーム医療のしくみと重要性について説明できる。(1027)
6. チームワークの重要性を例示して説明できる。(☆)
7. 医師、看護師など他職種の立場からチーム医療を理解し、説明できる。(☆)
8. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。(107)
9. 地域薬局の役割を列挙できる。(106)
10. 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。(113)
11. 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。(10)
12. 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。(9)
13. 司法における薬剤師の役割を概説できる。(☆)
14. 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。(☆)
15. 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。(12)
16. 創薬研究について理解し、社会に対してどの様に貢献しているか説明できる。(☆)
17. 医薬品等に係わる知的財産権保護の仕組み（申請、承認など）について説明できる。(☆)
18. 製薬企業に係わる MR の役割について説明できる。(☆)

19. 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。(115)
20. 研究に必要な独創的考え方、能力を醸成し、その重要性を説明できる。(1062)
21. 研究者に求められる自立した態度を身につけ、その重要性を説明できる。(1062)
22. 研究者・医療教育者としての進路についてイメージし、今後の進路に役立てることができる。(☆)
23. 薬剤師が関わる種々の職業について討論できる。(☆)
24. 医療現場で働く医療関係者の講義から、自身の将来像をイメージし、今後の進路に役立てることができる。(☆)

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/23	水	2	附属病院看護部	佐藤 悦子 看護部長	チーム医療(1) 看護師の立場から(☆) チーム医療における看護師の役割と薬剤師の関わりについて学ぶ。 1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。 2. 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べることができる。 3. 薬剤師とともに働く医療チームについて概説できる。 4. チーム医療のしくみと重要性について説明できる。 5. チームワークの重要性を例示して説明できる。 6. 医師、看護師など他職種の立場からチーム医療を理解し、説明できる。 7. 医療現場で働く医療関係者の講義から、自身の将来像をイメージし、今後の進路に役立てることができる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。
6/6	金	2	薬学教育学分野	小野寺 賢 非常勤講師	行政機関で働く薬剤師の役割と業務内容について(☆) 講師：宮城県警察科学捜査研究所 研究職員 1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。 2. 薬の専門家が社会において果たす役割を列挙できる。 3. 薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。 4. 司法における薬剤師の役割を概説できる。 5. 薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。

					【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。
6/19	木	3	薬学教育学分野	岡沼 宇宙 非常勤講師	薬局の薬剤師業務と経営，地域医療との関わりについて（☆） 講師：岩手県薬剤師会 理事 1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。 2. 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べることができる。 3. 薬の専門家が社会において果たす役割を列举できる。 4. 薬剤師とともに働く医療チームについて概説できる。 5. チーム医療のしくみと重要性について説明できる。 6. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。 7. 地域薬局の役割を列举できる。 8. 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。 9. 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。 10. 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。
6/25	水	4	医療福祉相談室	近藤 昭恵 室長	チーム医療（２）医療福祉相談室の立場から（☆） 1. 患者に寄り添うために薬剤師ができることについて討議できる。 2. 患者に提供できる社会資源について説明できる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。

8/19	火	2	薬学教育学分野	荒井 俊光 非常勤講師	製薬企業の研究開発について（☆） 講師：Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社 研究本部 CSO オフィス 1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。 2. 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。 3. 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。 4. 創薬研究について理解し、社会に対してどの様に貢献しているか説明できる。 5. 医薬品等に係わる知的財産権保護の仕組み（申請、承認など）について説明できる。 6. 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。
9/1	月	2	薬学教育学分野	大竹 宏典 非常勤講師	製薬企業の社会的使命と MR の役割について（☆） 講師：中外製薬 MR 1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。 2. 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べることができる。 3. 薬の専門家が社会において果たす役割を列举できる。 4. 製薬企業における MR の役割について説明できる。 5. 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。
9/2	火	2	薬学教育学分野 附属病院薬剤部	中村 咲良 非常勤講師 稲垣 学人 薬剤師	チーム医療（3）病院薬剤師の立場から（☆） 病院薬剤部における業務内容と薬剤師に求められる知識、技能、態度について学ぶ。 講師：岩手県立釜石病院薬剤科薬剤師

					岩手医科大学附属病院薬剤部薬剤師 1. 医療人としての心構えと社会からの期待について理解し、説明できる。 2. 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べることができる。 3. 薬の専門家が社会において果たす役割を列挙できる。 4. 薬剤師とともに働く医療チームについて概説できる。 5. チーム医療のしくみと重要性について説明できる。 6. チームワークの重要性を例示して説明できる。 7. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。 8. 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。 9. 薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。
10/3	金	3	臨床医化学分野	野口 拓也 教授	医療教育・研究者（☆） 医療に関わる基礎研究の現状と将来について～歯学部出身者の立場から～ 1. 研究に必要な科学的思考力と問題解決能力を醸成し、その重要性を説明できる。 2. 研究者に求められる独創性や創造性を身につけ、その重要性を説明できる。 3. 研究者・医療教育者としての進路についてイメージし、今後の進路に役立てることができる。 【ICT(Google フォーム)】 事前学修：予定されている講義内容をシラバスで確認し、講師の所属部署の情報を検索し予習しておくこと。 事後学修：講義の内容について、レジメや講義メモ等を参考に振り返り、感想を提出する。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
--	-----	-----	-----	-----

参	スタンダード薬学シリーズⅡ-1 薬学総論Ⅰ 薬剤師としての 基本事項	日本薬学会 編	東京化学同人	2015
参	スタンダード薬学シリーズⅡ-1 薬学総論Ⅱ 薬学と社会 第2 版	日本薬学会 編	東京化学同人	2022
参	モデル・コア・カリキュラムで 学ぶ薬学（新スタンダード薬学 シリーズ 第1巻）	新スタンダード薬学シリー ズ編集委員会 編	東京化学同人	2024
参	社会と薬学（新スタンダード薬 学シリーズ 第2巻）	新スタンダード薬学シリー ズ編集委員会 編	東京化学同人	2024

・ 成績評価方法

各講義終了後に提出する感想文（10%×8 回分）、および総括レポート（20%）から総合的に評価する。

・ 特記事項・その他

各回の講義終了後に、感想文を提出する（Google フォームを活用）。感想文は全員分を取りまとめて担当教員と共有する。

全講義終了後に、科目全体を振り返っての総括レポートを提出する（指定した書式に従って、Word ファイルを moodle より提出）。複数の講義を通して考えたことでもよいし、印象に残った特定の講義について感想文よりも深く掘り下げて考察してもよい。

授業に対する事前学修・事後学修にはそれぞれ 1 時間を要する。更に、レポートの作成に 13 時間程度の時間を確保する必要がある。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

いずれの講義もそれぞれの講義内容に対応した領域における実務家が担当する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	講義資料の映写